

1 第182回国会概観

1 第46回衆議院議員総選挙

第181回国会開会中の平成24年11月16日、野田内閣の下、衆議院が解散された。これを受けて、第46回衆議院議員総選挙は、12月4日に公示され、16日に行われた。

総選挙の結果、自由民主党は、衆議院の単独過半数を大きく上回る294議席を獲得した一方、民主党は、議席を大幅に減らし、57議席となった。また、日本維新の会、公明党及びみんなの党は、それぞれ54議席、31議席及び18議席を得て、議席を増やした。日本未来の党は9議席、日本共産党は8議席、社会民主党は2議席、国民新党は1議席、新党大地は1議席を得た。

今回の選挙の全国平均投票率は、小選挙区59.32%、比例代表59.31%であった。これは、前回(平成21年8月)の総選挙と比べ、小選挙区及び比例代表のいずれも9.96ポイント下回り、双方の全国平均投票率は、最低を記録した。

今回の総選挙において議席を大幅に減らした民主党では、総選挙当日の12月16日に野田代表が辞意を表明し、その後、25日に行われた代表選挙において、海江田万里衆議院議員を新代表に選出した。

12月25日、自由民主党及び公明党は、連立政権樹立に合意した。

2 会期及び活動等の概要

(召集・会期)

第182回国会(特別会)は、12月16日に行われた第46回衆議院議員総選挙を受け、12月26日に召集された。会期は、衆参両院の本会議において、12月28日までの3日間とする旨議決された。

開会式は、12月28日午前11時に参議院議場で行われた。

(院の構成)

参議院では、召集日当日、尾辻秀久副議長の辞任を許可し、副議長の選挙を行い、山崎正昭君が当選した。また、7特別委員会(災害対策、沖縄・北方、倫理選挙、拉致問題、ODA、消費者問題、震災復興)が設置された。12月26日に発足した安倍内閣の閣僚等人事に伴い2常任委員長(文教

科学、行政監視)の欠員が生じたことから、28日、両常任委員長の選挙が行われた。

衆議院では、召集日当日、議長及び副議長の選挙が行われ、議長に自由民主党の伊吹文明君が、副議長には民主党・無所属クラブの赤松広隆君が当選した。また、同日、議院運営委員長の選挙を行った。翌27日には、議院運営委員長を除く各常任委員長の選挙を行ったほか、災害対策特別委員会等9特別委員会が設置された。

(内閣総理大臣の指名)

召集日当日、両院の本会議において内閣総理大臣の指名が行われ、いずれにおいても、投票の結果、安倍晋三衆議院議員(自由民主党総裁)が指名された。

内閣総理大臣の指名を受け、同日、自

由民主党及び公明党の連立による安倍内閣が発足した。

(活動等の概要)

今国会中、参議院議員提出法律案2件が新規に提出されたが、いずれも成立しなかった。

内閣総理大臣の所信表明演説は行われなかった。

請願は、会期が短いため、受け付けなかった。

12月28日、衆参両院の本会議で閉会手続が行われた。